

2020年ユネスコ無形文化遺産候補に決定！

「伝統建築工匠の技」



お申込みフォームは
こちらから！

普請文化フォーラム2019

平城宮大極殿院の復原から学ぶ
～史跡上における復元の法的、技術的手法を探る～

日時

令和元年8月4日(日)

13:00受付

13:30開演～16:00

会場

東京日本橋・奈良まほろば館 2階

www.mahoroba-kan.jp

東京都中央区日本橋室町1丁目6番2号 日本橋室町162ビル (三越前駅A1出口すぐ前)

定員:70名

参加費 : 資料代として 1000円 (フォームより申し込み、事前振込)

パネル
ディス
カッション

講師 松本 浩氏 (国交省/飛鳥歴史公園事務所所長)

講師 上田忠司氏 (株竹中工務店設計本部/伝統建築グループ・工学博士)

コーディネーター 津村泰範氏 (長岡造形大学造形学部建築・環境デザイン学科准教授)

今回の企画は、古都奈良にある平城宮跡歴史公園に復原中の大極殿院にスポットを当て、史跡などの文化財において伝統技術による木造新築復元(復原)工事の調査、許可、設計、施工がどのように行われているか、そのプロセスを探ります。また、日本各地で、城郭や寺社、民家など新築復元(復原)や一般でも伝統的構法を用いた木造建築が計画されており、平城宮大極殿院復原工事を学ぶことで伝統建築技術と現代の建築技術の融合した建築物の今後の参考としたいと思います。このフォーラムは、普請文化と職人たちの匠の技の継承を学ぶことで、2020年のユネスコ無形文化遺産候補である「伝統建築工匠の技」の普及啓発活動の一環として位置づけております。

主催: 奈良まほろば館 (一社) 伝統を未来につなげる会 (公社) ソーシャル・サイエンス・ラボ

お問い合わせ 伝統を未来につなげる会事務局 電話 050-3659-2725 メール info@denmi.jp